

# 企業におけるSDGs実践事例のご紹介

坂本 建光氏

リコージャパン株式会社 販売事業本部青森支社 事業企画推進グループ

RICOH imagine. change.



## 今からできる!

# SDGs セミナー

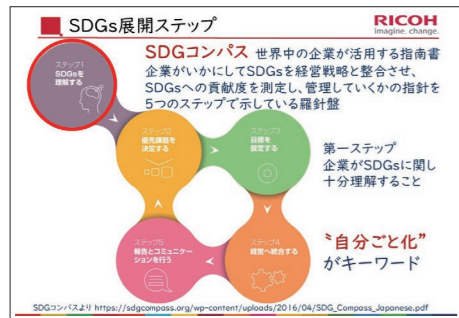
開催日時 2021年2月25日(木) 13:00~14:30

会場 オンライン(ZOOM)  
サテライト会場(東奥日報新町ビル3階 催事場C)

主催 青森県



リコージャパンでは、“Customer's Customer Success(お客様のその先のお客様にも届く価値を)”をビジネスコンセプトに、リコーグループ全体の経営の中心にSDGsを据えています。そうした取組の成果として、2020年「日経SDGs経営大賞」にて大賞を受賞しました。



これからの企業は持続可能な社会づくりへの責任が問われるようになり、SDGsに取り組むことは、今後は生き残るための企業の経営戦略になると考えています。SDGsの達成に貢献しない取組をした場合、商品の不買運動や顧客情報の流出、SNS等による炎上、社員の退社、内部告発、社員が採用できない等の問題が生じると考えられます。

取組を進めるにあたってのキーワードは“自分ごと化”。“自分ごと化”して具体的な取組を進めることがSDGsの推進につながります。当社のユニークな取組として、「ひとこと多い貼り紙」という、SDGsを啓発するための貼り紙を活用しています。また、青森支社独自の取組として、その貼り紙を津軽弁にアレンジしたものを社内随所に掲示しており、楽しさとともに啓発活動を行っています。

当社以外の事例として、株式会社石郷岡(弘前市)では、雪国で快適に過ごすための家づくりのため、省エネ資材のコーディネートや、太陽光パネルの活用などを検討しています。株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック(平川市)では、スマート農業のための機器やIoTソリューションを通じて、持続可能な農業の実現と食品ロスの解消に貢献しています。

mizuiro株式会社(青森市)では、クレオンの原材料として収穫の際に捨てられてしまう野菜の外葉などを活用していますし、株式会社リビエラ(青森市)では、作物の周年栽培や魚の陸上養殖、家畜の餌やりや排泄物処理の自動化に貢献することを目標としています。

SDGs達成のためには、それぞれの立場でゴールをめざすこと、そして、それぞれが協力してゴールをめざすことが必要です。また、SDGsはわかりやすく楽しく取り組める目標です。事前の届け出や認証取得は一切ありません。誰でもSDGsのロゴやアイコンを使用し、いつでも取組を始めることができます。

今後、企業には社会課題解決による持続的な企業価値向上が不可欠となり、SDGsに貢献しない事業は淘汰されます。日常の中で常にSDGsを意識し、行動していくことが今後求められます。

### 参加者の声

“ひとこと多い貼り紙”をやってみたい。

自分の会社でも何をしていけばいいのが明確になりました。

青森県中小企業事例 株式会社石郷岡 RICOH  
事例1 株式会社石郷岡様  
①事業概要  
②SDGsに取り組んだきっかけ  
③17目標の中の、どの項目で、どのようなことを実践していますか?

青森県中小企業事例 JWP RICOH  
事例2 株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック様  
①事業概要  
②SDGsに取り組んだきっかけ  
③17目標の中の、どの項目で、どのようなことを実践していますか?

青森県中小企業事例 mizuiro RICOH  
事例3 mizuiro株式会社様  
①事業概要  
②SDGsに取り組んだきっかけ  
③17目標の中の、どの項目で、どのようなことを実践していますか?

青森県中小企業事例 Riviera RICOH  
事例4 株式会社リビエラ様  
①事業概要  
②SDGsに取り組んだきっかけ  
③17目標の中の、どの項目で、どのようなことを実践していますか?



県内外から、企業、団体、自治体、生徒・学生、個人の方などから100名を超える申し込みがあり、また、セミナー終了後には期間限定でセミナー動画の公開を行い、延べ約200名がSDGsについて理解を深めました。

### プログラム

#### 開会

13:00~14:00 基調講演  
「笑って学ぶSDGs」

ピン芸人、時事YouTuber、株式会社笑下村塾 代表取締役  
たかまつ なな 氏

14:00~14:30 取組紹介  
「企業におけるSDGs実践事例のご紹介」

リコージャパン株式会社  
販売事業本部青森支社  
事業企画推進グループ  
坂本 建光 氏

# 笑って学ぶSDGs

たかまつ なな氏

ピン芸人、時事YouTuber、株式会社笑下村塾 代表取締役

(ゲスト:三拍子(高倉陵・久保孝真))



わたしは、「笑下村塾」という会社を5年ほど前に設立し、お笑いで社会問題を伝える出張授業を全国で行っています。その傍ら、お嬢様芸人としてカメルーンやマダガスカルなど様々な国を訪問する中で、「日本の皆さんに世界のことをもっと身近に感じてほしい」と考えるようになりました。

それは、このままだと、未来の子どもたちに大きな“ツケ”を回してしまうことになるからです。“ツケ”を回さないために今できることは何か?と考えたときに、持続可能な社会を作るというSDGsの考え方がそれに当てはまると考え、SDGsを皆さんにもっと知っていただくための活動を行っています。



例えば、ネパールの子どもたちでお金がなくて学校にいけない子は、レンガ工場で出稼ぎをして1日に1,000個のレンガを作っています。コンゴ民主共和国では民族衝突により、1時間に約1,200人が避難を余儀なくされ、その約半分は子どもです。ニカラグアでは使用が禁止されている農薬をバナナ農場で空中散布した結果、多くの農場労働者が無精子症になってしまいました。また、温暖化対策をせずに地球全体の気温が約4度上昇した場合、海水面が今よりも数メートル上昇し、約6億人の住む土地が水没すると言われています。

日本のSDGs達成状況は世界で17位となっています。(ゴール4.質の高い教育をみんなに)、(ゴール9.産業と技術革新の基盤をつくろう)、(ゴール16.平和と公正をすべての人に)の3つに関しては達成率は高いですが、(ゴール5.ジェンダー平等を実現しよう)や(ゴール13.気候変動に具体的な対策を)など、達成からほど遠い目標もあります。特に、(ゴール5.ジェンダー平等を実現しよう)については、女性議員の数が少ないことや、男女の賃金格差の問題などがあり、先進国の中で達成度が低いのは日本くらいです。価値観を変えていく必要があります。



世界の取組を見ても、例えば、オーストラリアには店内の全商品が無料のスーパーがあります。賞味期限切れ前で処分される食品を、大手スーパーなどから譲り受けて提供しているのです。これは先進国に多い食品ロス問題の解消につながります(ゴール12.つくる責任 つかう責任)。また、スマートフォン向けゲームとコラボし、SDGsの目標をゲーム内に登場させることで、子どもたちに遊びながらSDGsについて考えてもらうきっかけを作っている取組もあります(ゴール4.質の高い教育をみんなに)。

日本の団体の取組では、例えば、JICA(独立行政法人 国際協力機構)は難民への母子手帳の導入・普及を支援しています。難民は移動しながら生活しているため同じ病院に通うことができませんが、母子手帳があることにより、医師が治療の状況を把握することができるようになります(ゴール3.すべての人に健康と福祉を)。また、味の素株式会社はガーナの生後6か月以降の乳幼児の深刻な栄養不足改善のため、伝統的な離乳食にふりかけて食べる栄養サプリメント「KOKO Plus(ココプラス)」を開発しました(ゴール2.飢餓をゼロに)。

一方で悲しい事実もあります。「SDGsウォッシュ」といって、一見SDGsに対応しているように見えて、実際には何の成果も出でらずゴール達成に貢献していない事業のことを指します。例えば、食べ物を取り扱っている企業が何の取組もせずに(ゴール1.貧困をなくそう)を掲げているような場合があります。

日本では、内閣府が中心となり、自治体単位で“SDGs未来都市”を認定するなど政策としてSDGs推進にかなり力を入れています。企業単位でも大企業を中心に、SDGs達成に貢献しようという機運が高まっています。また、今では小学校の学習指導要領にもSDGsが明記され、教科書にも載っています。



私たち個人が消費者としてのリテラシーを高めていく事が本当に大事です。もしも、今、自分が着ている服が児童労働で作られていたとすれば着たくなりますよね。企業だけではなく、私たち消費者がリテラシーを高めて商品を選ぶようにしていくことが必要です。

政府や企業の取組だけではなく、私たち一人一人がみんなで目標達成に向かっていかなくてははいけません。

みなさんも、できることから始めてみませんか。

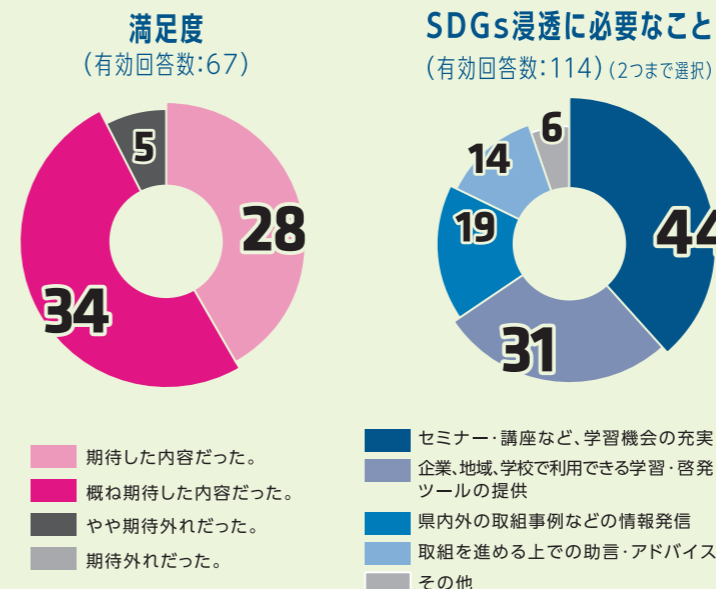
## 参加者の声

無駄な買い物をして、すぐに捨ててしまわない、など個人でもできる事を今日から始めたいと思いました。

具体的な世界の状況や対策を知ることができてよかった。また、私たち一人一人の個人が必要だと学んだ。

## 参加者アンケート結果

参加者からは「分かりやすいだけでなく聞いていて楽しくSDGsを理解できた」、「SDGs普及啓発に関する具体的な活動内容がわかった」といった意見がありました。



**その他のご意見**

- ・やらされるのではなく、自分からやるという個々の意識が重要だと感じた。
- ・県内でSDGsに取り組む企業・団体等の交流の機会が必要だと感じた。
- ・SDGs診断のような多項目のリストを作り、自分や企業が何からならできるのか、何ができていたのかわかってもらうことも大切だと思った。

## セミナーに関するご意見

- 貧困などの問題を、持続可能な状態で解決するための手法について話を深めている点良かったです。
- たかまつさんの講演の内容は分かりやすく、具体的な事例も豊富で良かった。
- 取組紹介の中で、SDGsをビジネスに落とし込んでいく姿勢に憧れました。